

令和4年度 第1回

上里町地域公共交通活性化協議会会議資料

報告事項 1

「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について

(1) 「こむぎっち号」の運行状況について

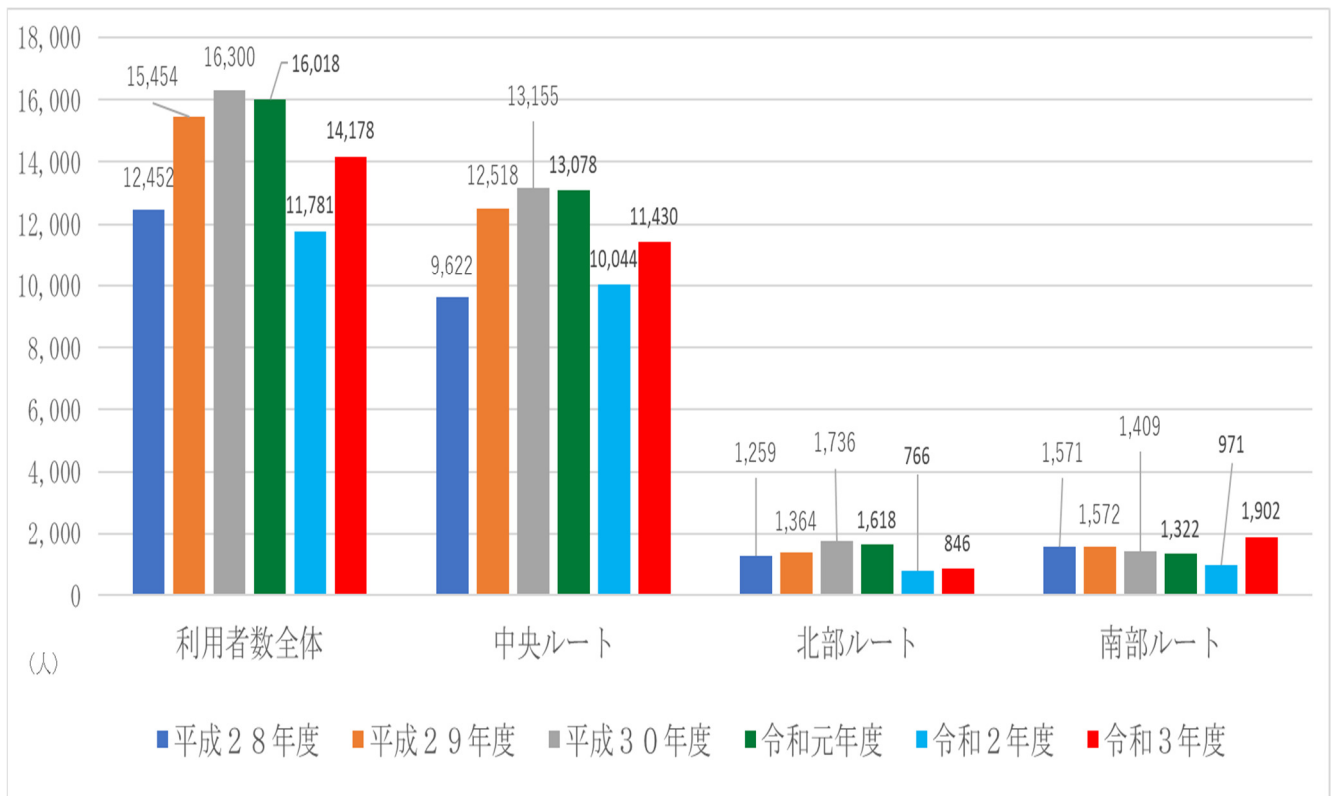
(2) 「こむぎっち号」の利用状況について

①令和3年度上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用実績

年月	利用者数全体	中央ルート		北部ルート			南部ルート		
		利用者数	運行日数	利用者数		運行日数	利用者数		運行日数
				アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環		アグリパーク 上里循環	ウニクス 循環	
R3. 4	1,372 人	1,106 人	26 日	40 人	57 人	13 日	91 人	78 人	13 日
5	1,277 人	1,064 人	26 日	28 人	28 人	13 日	78 人	79 人	13 日
6	1,194 人	918 人	26 日	36 人	66 人	13 日	88 人	86 人	13 日
7	1,235 人	955 人	27 日	40 人	37 人	13 日	83 人	120 人	14 日
8	1,148 人	922 人	26 日	32 人	30 人	13 日	65 人	99 人	13 日
9	1,140 人	934 人	26 日	34 人	27 人	13 日	61 人	84 人	13 日
10	1,207 人	991 人	26 日	30 人	36 人	13 日	75 人	75 人	13 日
11	1,126 人	935 人	26 日	33 人	29 人	13 日	64 人	65 人	13 日
12	1,209 人	997 人	24 日	28 人	45 人	12 日	65 人	74 人	12 日
R4.1	1,017 人	849 人	24 日	10 人	24 人	12 日	56 人	78 人	12 日
2	962 人	778 人	24 日	23 人	36 人	12 日	51 人	74 人	12 日
3	1,291 人	981 人	27 日	32 人	65 人	13 日	119 人	94 人	14 日
合計	14,178 人	11,430 人	308 日	366 人	480 人	153 日	896 人	1,006 人	155 日
				846 人			1,902 人		
年間人数 昨年比 (%)	+2,397 人 (120.3%)	+1,386 人 (113.8%)	0 日	+80 人 (110.4%)		-2 日	+931 人 (195.9%)		+2 日

②年度毎の上里町コミュニティバス「こむぎっち号」利用者推移

年月	利用者数全体	中央ルート	北部ルート	南部ルート
		利用者数	利用者数	利用者数
H28	12,452 人	9,622 人	1,259 人	1,571 人
H29	15,454 人	12,518 人	1,364 人	1,572 人
H30	16,300 人	13,155 人	1,736 人	1,409 人
R1	16,018 人	13,078 人	1,618 人	1,322 人
R2	11,781 人	10,044 人	766 人	971 人
R3	14,178 人	11,430 人	846 人	1,902 人



【参考】こむぎっち号のダイヤ改定等歴

(1) 平成28年3月

「町内巡回バス」を「こむぎっち号」として再編。月～土曜日（祝日含む）に3ルート（中央ルート、北部ルート、南部ルート）運行。

(2) 令和元年9月

北部ルートと南部ルートを隔日運行とし、増便を図るとともに、1便あたりの所要時間を短縮。

(3) 令和3年3月

北部ルートと南部ルートの2ルート往復型を再編し、4ルート循環型とした。1ルートあたりの所要時間を短縮するとともに、増便を実施。

○令和3年度の利用者数を前年度と比較すると、全てのルートにおいて増加したが、総利用者数はコロナ以前よりも少ない状況である。

○北部ルートについては、昨年度よりは増加はしているものの、コロナ以前と比較すると他ルートよりも減少幅が大きい。令和3年3月に実施したルート再編の影響である可能性が高い。

○南部ルートについては、約2倍と大幅な増加となり、コロナ以前よりも利用者数が伸びている。ルート再編の影響である可能性が高い。

○一月あたりの平均利用者数は約1,182人であった。

緊急事態宣言期間（R3.8.2～R3.9.30）やまん延防止等重点措置期間（R3.4.20～R3.8.1、R4.1.21～R4.3.21）があったが、1年を通じてあまり利用者数に変動はなかった。

③ 「こむぎっち号」フリー降車の利用実績について

年 月	北部ルート				南部ルート			
	アグリパーク上里循環		ユニクス循環		アグリパーク上里循環		ユニクス循環	
	3バス停		12バス停		9バス停		7バス停	
	通常	フリー	通常	フリー	通常	フリー	通常	フリー
R3.4	0	0	13	4	7	10	13	1
5	0	0	8	1	14	8	20	2
6	0	0	51	0	10	11	17	1
7	0	0	5	3	13	9	29	3
8	0	0	1	2	7	7	18	10
9	0	0	7	1	3	9	16	8
10	0	0	13	0	5	13	13	8
11	0	0	10	2	7	9	16	2
12	0	0	12	3	5	5	14	10
R4.1	0	0	5	5	0	10	20	6
2	0	0	14	2	2	11	16	14
3	0	0	24	2	2	11	12	5
合 計	0回	0回	163回	25回	75回	113回	204回	70回
フリー降車の割合	-		13.3%		60.1%		25.5%	

○南部ルートのフリー降車の割合は、北部ルートより高く、アグリパーク上里循環のフリー降車区間では、半数以上の方がフリー降車を利用している。

④バス周知及び利用者増加のための取組

●時刻表の見方や乗り継ぎが分からない方向けに『わたしの時刻表』を作成

令和3年度 作成件数 36件 (申込者数 18名)

●高齢者無料パスの交付

令和3年度 交付者数 12名

●県の取り組みである「バスまちスポット」への登録施設拡充(令和3年度時点:町内公共施設8か所、町内商業施設9か所)。

●利用者の満足度調査のために『利用者アンケート』を実施。令和4年度も実施予定。

●OD調査(起点 origin と終点 destination を移動目的・交通手段等とともに把握する)を実施。

令和4年度も実施予定。

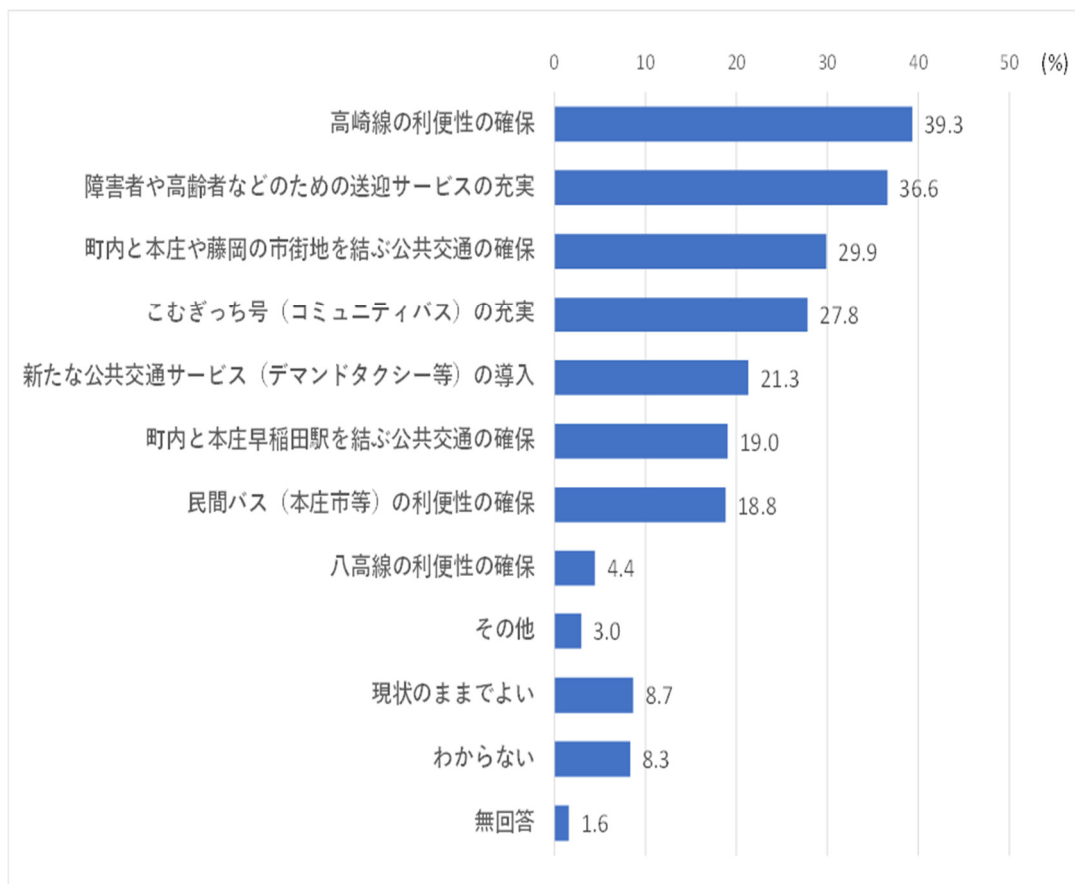
(3) 第5次上里町総合振興計画後期基本計画策定時アンケート結果
公共交通対策について

<実施状況・結果>

調査対象	上里町に居住する18歳以上の2,000名
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和3年4月23日～5月10日
有効回収数	877票
回収率	43.85%

15 あなたは、町内や近隣への交通手段として、どのような取組が充実すればいいと思いますか。
(主なものを3つまでに○)

充実してほしい交通手段についてみると、「高崎線の利便性の確保」が39.3%と最も高く、次いで「障害者や高齢者などのための送迎サービスの充実」が36.6%、「町内と本庄や藤岡の市街地を結ぶ公共交通の確保」が29.9%、「こむぎっち号（コミュニティバス）の充実」が27.8%と続きます。



(4) 【関連政策】 高齢者お出かけサポート助成事業について

①事業概要

<導入経緯>

地域公共交通網形成計画の施策「次期公共交通の導入可能性の検討」において、「こむぎっち号が利用できない歩行困難者等を対象として、外出する際に利用するタクシーの補助券の交付等について検討すること」としていることを受け、令和2年9月より、公共交通を利用する際の自宅からバス停までをカバーすることを前提に高齢者の外出支援及び社会参加を促進することを目的に事業を開始した。試験的に実施するため、事業終了年月は令和5年3月と設定した。

<対象者>

町内に住所を有し、かつ在宅で生活する満65歳以上の者で次のいずれにも該当する者

- (ア) 介護保険法第19条に規定する認定を受けた者（要支援1以上）
- (イ) 単身者又は満65歳以上の者のみで構成する世帯に属する者
- (ウ) 運転免許証を有しない者
- (エ) 上里町重度心身障害者福祉タクシー利用券の交付対象者でない者

<助成内容>

- ・助成額：利用券1枚につき初乗運賃相当額
- ・交付枚数：24枚／年度

②事業実績

	令和2年度（9~3月）	令和3年度
申請者	53人	70人
利用者※	87人	212人
枚数	191枚	542枚
支払額	118,020円	333,540円

※月毎の利用者数の合計

③アンケート実施状況

利用実態を把握するため、利用者に対しアンケートを実施

◎第1回目：令和3年8月実施 発送数53人、回答数31人、回答率58.5%

- ・併用する交通手段は「なし」と回答した方が約4.5割と最も多く、次いで「こむぎっち号」と「電車」と回答した方がそれぞれ約1.5割であった。
- ・主な利用目的は「通院」または「買い物」と回答した方の割合が8割を超えていた。
- ・外出回数は「週2~3回」と回答した方が約4割と最も多かった。
- ・タクシー券の交付枚数と事業の満足度については、約3.5割の方が「不満」と回答している。

◎第2回目：令和4年2月実施 発送数64人、回答数37人、回答率57.8%

- ・併用する交通手段は「なし」と回答した方が約6割と最も多く、「電車」と回答した方が約2割、「こむぎっち号」と回答した方が約1割であった。
- ・主な利用目的は「通院」または「買い物」と回答した方の割合が8割を超えている。
- ・平均利用回数は月3回程度であった。
- ・タクシー以外の交通機関を利用する上で、乗降に問題があるという意見が7割を超えていた。
- ・目的地別交通手段

目的地	タクシー	バス	こむぎっち号	電車	車	徒歩・自転車
町内病院	60%	0%	12%	0%	8%	19%
町外病院	73%	0%	6%	4%	12%	6%
買い物	56%	2%	17%	0%	8%	17%
役場	40%	0%	40%	0%	0%	20%
公民館	50%	0%	20%	0%	10%	20%

報告事項 2

「ミライロ ID」の導入について

1. 経緯と目的

こむぎっち号については、「身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者」の運賃を降車の都度、手帳を提示することにより免除している。

昨今、障害者割引運賃・料金による乗車及び施設利用者時等の本人確認について、障害者に過度な負担とならないよう、合理的な方法で行うことが推奨されており、公的認証された障害者情報を活用した民間事業者によるスマートフォンのアプリケーションで提供されているサービスについて不正防止の観点からも身体障害者手帳等に代わるものとして運用することに差し支えないことが確認されており、国や埼玉県においては障害者手帳アプリ「ミライロ ID」の導入拡大などの取組みが進められている。

こむぎっち号においても、運賃免除対象者の本人確認手段として、障害者手帳アプリ「ミライロ ID」による確認を可とすることで、障害者の負担軽減とサービス向上を図る。

2 導入したサービス名

障害者手帳アプリ「ミライロ ID」

3 供用開始日

令和 4 年 4 月 1 日

4 サービス適用の対象者

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を所持している者

5 確認方法

運賃支払時に「ミライロ ID アプリ」を起動し、該当画面を運転士に提示する。

6 周知方法

- ・「ミライロ ID」周知ステッカーを車内に掲示。
- ・町においては、広報かみさと 4 月号及び町ホームページに掲載。

障害者手帳を、あなたのスマホへ。

MIRAIRO ID



MIRAIRO ID



カバンや財布から取り出していた障害者手帳を
これからはスマホでパッと提示できます。

外出する障害者、向き合う企業、
みんなの便利をミライロ ID が実現します！

ミライロ ID 検索



身体障害者手帳

療育手帳

精神障害者保健福祉手帳



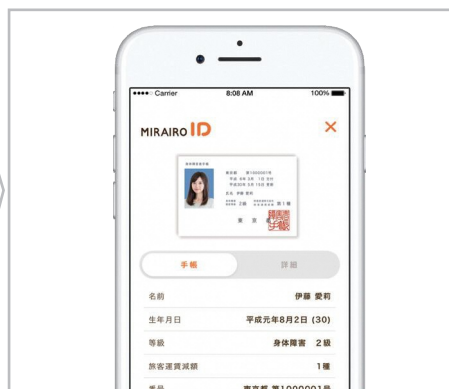
ユーザーが
情報を登録



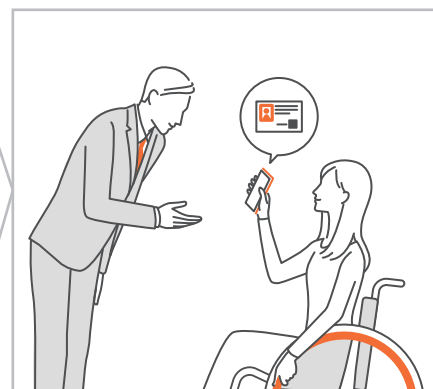
ミライロ ID 利用の流れ



アプリを起動



手帳情報を表示



窓口で画面を提示

- ミライロ ID の登録には、障害者手帳が必要です。障害者手帳を撮影し、読み込んでください。
- ミライロ ID が利用できない企業もあるため、障害者手帳を必ず携帯してください。
- アプリが最新でない場合、正しく表示されない場合があります。ご利用の前に、最新版へアップデートしてください。
- 本マニュアルは、2019年7月1日時点の内容です。内容は予告なく変更になる場合があります。

ミライロ ID で確認できる項目



手帳画面

Carrier 8:08 AM 100%

MIRAIRO ID

身体障害者手帳

東京都 第1000001号
平成6年3月1日交付
平成30年5月15日更新

氏名 伊藤 愛莉

身体障害者
程度等級 2級 鉄道株式会社
等 運賃減額 第1種

東京都

手帳 詳細

名前 伊藤 愛莉 ① 名前

生年月日 平成元年8月2日 (30) ② 生年月日

等級 身体障害 2級 ③ 等級

旅客運賃減額 1種 ④ 旅客運賃減額

番号 東京都 第1000001号 ⑤ 番号

有効期限 ⑥ 有効期限

交付日 平成6年3月1日 ⑦ 交付日

更新日 平成30年5月15日 ⑧ 更新日



詳細画面

手帳 詳細

身体・精神特性 ⑨ 身体・精神特性

使用機器など 自走 ⑩ 使用機器など

⑪ 使用機器の写真

⑫ 使用機器の仕様

通常 全長 80cm
全幅 50cm
全高 74cm

サイズ ⑫ 使用機器の仕様

折畳 全長 80cm
全幅 32cm
全高 74cm

重量 45kg

求めるサポート

⑬ 求めるサポート

電車は車いす対応席を、ホテルはバリアフリーを希望します。

身体障害者手帳

身体障害者手帳

⑤ 東京都 第 1000001号
⑦ 平成 6年 3月 1日交付
⑧ 平成 30年 5月15日更新

① 氏名 伊藤 愛莉

③ 身体障害者
程度等級 2級 ④ 鉄道株式会社
等 運賃減額 第1種

東京都

療育手帳

療育手帳(愛の手帳)

⑤ 東京都 第 1000001号
⑦ 平成 6年 3月 1日交付
⑧ 平成 30年 5月15日更新

① 氏名 伊藤 愛莉

③ 総合判定 4度 ④ 鉄道株式会社
等 運賃減額 第2種

東京都

精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳

⑤ 手帳番号 1000001
自立支援医療受給者番号 1000001

① 氏名 伊藤 愛莉
(フリガナ イトウ アイリ)

③ 障害等級 2級

東京都

⑦ 交付年月日 平成26年 2月 1日
⑥ 有効期限 平成30年 1月31日

ミライロ ID ヘルプセンター



WEB サイト下部の
お問い合わせフォームからご連絡ください。



ミライロ ID が使える場所を増やそう♪
WEB サイトにリクエストフォーム設置中

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用するスクリーン・リーダー（コンピュータの画面読み上げソフトウェア）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があります。障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、漢字の表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。

関交企第 105 号
令和 3 年 9 月 28 日

上里町地域公共交通活性化協議会
会長 江原 洋一 殿

関東運輸局長
小瀬 達之



令和 4 年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る地域公共交通計画又は生活交通確保維持改善計画の認定について

令和 3 年 6 月 24 日付け上交通協第 10 号で認定申請のあった「令和 4 年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金）に係る地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第 5 条第 1 項に規定する地域公共交通計画又は生活交通確保維持改善計画」については、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱第 10 条の規定を準用する第 18 条、附則第 2 条により、令和 3 年 9 月 24 日付け国総地第 34 号をもって、国土交通大臣が地域公共交通確保維持事業に係る計画であるものとして認定したので、通知する。

令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告

令和3年6月18日(金) 書面協議	上里町地域公共交通活性化協議会委員委嘱 第1回上里町地域公共交通活性化協議会 ○報告事項 ・「こむぎっち号」の利用状況について ○協議事項 ・令和2年度上里町地域公共交通活性化協議会事業報告 ・令和2年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告 ・令和2年度上里町地域公共交通網形成計画の達成状況の評価(案) ・令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画(案) ・令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算(案) ・上里町生活交通確保維持改善計画【令和4～6年度分】(案)
令和3年8月19日(木) 書面会議	第2回上里町地域公共交通活性化協議会 ○報告事項 ・「こむぎっち号」の利用状況について ○協議事項 ・「こむぎっち号」北部ルート(アグリパーク上里循環)「金上公会堂東」バス停の移設について(案)
令和3年11月1日(月) 役場 4階 大会議室	上里町地域公共交通活性化協議会委員委嘱 第3回上里町地域公共交通活性化協議会 ○報告事項 ・「こむぎっち号」の運行状況及び利用状況について ○協議事項 ・上里町地域公共交通網形成計画の変更について(案)
令和4年1月20日(木) 書面協議	第4回上里町地域公共交通活性化協議会 ○報告事項 ・「こむぎっち号」利用者アンケート集計結果について ○協議事項 ・地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について(案)

令和 3 年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算

1 歳入

単位：円

款	項	目	予算現額	収入済額	比較	備考
1	負担金	1 負担金	10,000	10,000	0	上里町より
2	補助金	1 補助金	0	0	0	
3	繰越金	1 繰越金	69,613	69,613	0	
4	諸収入	1 雑入	0	0	0	預金利子
合計			79,613	79,613	0	

2 歳出

単位：円

款	項	目	予算現額	支出済額	残額	備考
1	運営費	1 会議費	50,000	40,000	10,000	・会議運営費
	2 事務費	1 事務費	19,613	12,270	7,343	・切手代 等
2	事業費	1 事業費	0	0	0	
3	予備費	1 予備費	10,000	0	10,000	
合計			79,613	52,270	27,343	

総収入額	—	総支出額	=	翌年度繰越額
79,613	—	52,270	=	27,343

令和3年度会計監査報告について


令和3年度上里町地域公共交通活性化協議会収支決算及び予算執行の
状況を令和4年4月21日に関係書類帳簿により監査したところ、適正かつ
正確であることを認めます。

令和4年4月21日

監 事

石山真司 

監 事

間之田由美 

上里町地域公共交通活性化協議会

会 長 江 原 洋 一 様

上里町地域公共交通網形成計画の達成状況の評価について 【対象年度：令和3年度】

上里町地域公共交通網形成計画では、計画に位置づけた「事業実施状況や目標達成状況の評価・検証」を本協議会において評価することとしている。

【目標1】 町内公共交通の利便性向上により公共交通利用者の増加を図る									
施策	評価指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	該当年度の目標達成状況の評価・検証	今後の改善点
「こむぎっち号」(定時定路線)の検証、次期公共交通の導入可能性の検討	年間利用者数	目標値	17,500人	18,700人	19,900人	21,100人	22,300人	昨年度より、利用者が増加したものの、コロナ以前の利用者数より少ない。 R3.3の支線ルートからのルート再編から1年が経過し、南部ルートについては、コロナ以前より利用者数が増加している。しかし、北部ルートについては、伸び悩んでいる。利用者が利用しやすい環境の更なる整備が必要である。	公共交通利用者の増加は以前よりも深刻な状況である。高齢者無料パスの年齢拡充により、利用者が利用しやすい環境を更に整備していく。利用者が少ないルートについては、特に分析をしっかりとっていく。
		実績値	11,781人	14,178人					
		達成率	67.3%	75.8%					
交通結節点の整備	乗り換え利用有無 (利用者OD調査により把握)	目標値	2%	2%	2%	2%	2%	昨年度は、他交通機関(鉄道、路線バス、タクシー)への乗り換えについては調査未実施であったため、こむぎっち号間での乗り換え値であったこともあり(今年度は鉄道、路線バス、タクシー、自家用車への乗り換えも含む)、大きく実績値が伸びた。(R2ベースでは、2.5%)	実績値17.3%のうち、鉄道利用者が12.4%と最も高かった。ルート変更前の乗り換えデータがないため、ルート再編前後は比較できないが、当初見込みより乗り換え利用者が多い。指標設定の妥当性について検討していく。
		実績値	3.6%	17.3%					
	達成率	179%	865%						
	交通結節点利用の満足度 (利用者意見調査により把握)	満足度	-	69%				「満足、普通」と回答した人の割合である。「不満」と回答した人の割合は3%と低かった。	「わたしの時刻表」の活用を促し、今後も引続き、効率的な乗り換え案内を実施していく。
高齢者の公共交通利用支援	高齢者無料パスの発行件数	目標値	54件	73件	92件	111件	130件	高齢者無料パスの申請は、令和3年度は12件であり、累計48件であった。 目標達成とならなかった。	コロナ対策を万全にし、バス啓発を積極的に実施していく。高齢者無料パスについての問合せが複数あるが、講習会とのタイミングが合わず申請がすぐにはできない状況。利用者促進のためにも、いつでも申請可能な仕組みに変更する。
		実績値	36件	48件					
		達成率	66.7%	65.8%					
-	全体満足度 (利用者意見調査により把握)	満足度	-	72.7%				「満足、やや満足、普通」と回答した人の割合である。「不満、やや不満」と回答した人の割合は5.2%であった。	主な不満の要因は「運行日、運行時間、運行便数」であった。次期導入形態検討の際には、現状の課題として解決策等を検討していく。
【目標2】 持続可能な公共交通を実現する									
施策	評価指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	該当年度の目標達成状況の評価・検証	今後の改善点
運賃収入の確保	町の費用負担割合	目標値	16.6%	16.6%	16.6%	16.6%	16.6%	昨年度より運賃収入等が増えたが、燃料高騰の影響で総支出が増加したため、町負担割合は昨年度より高くなった。	引続き燃料が高騰状態であるため、総支出は増加傾向にある。少しでも利用者数を増加させ、運賃収入が増加となるよう努める。
		実績値	15.6%	16.1%					
		達成率	106.4%	103.1%					
財源の確保	広告掲載数	目標値	135,840円	152,970円	年間運賃収入の15%			今年度、制度構築を実施。広報とHPで募集をかけるも申請がなかった。利用頻度が高いバス停近くの店舗へ、広告掲載依頼に行ったが実績に繋がらなかった。	引続き、掲載につながるよう周知を実施していく。
		実績値	0	0					
		達成率	0%	0%					
広報・チラシ、「乗り方教室」等による啓発活動	交通安全教室と連携したバスの乗り方教室等、啓発活動の開催回数	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	6月に開催した交通安全講習会時に、バスの啓発と高齢者無料バス事業の周知を実施した。	こむぎっち号利用へのハードルが下がるよう積極的に利用促進をしていく。
		実績値	年1回	年1回					
		達成率	100%	100%					

令和4年度上里町地域公共交通活性化協議会事業計画（案）

1 交通計画の策定

上里町生活交通確保維持改善計画(フィーダー系統)【対象期間:令和5年～7年度】の策定。

2 上里町地域公共交通網形成計画の実施

上里町地域公共交通網形成計画に基づく各施策の実施及び達成状況の評価。

3 定時定路線の検証と次期公共交通についての検討を実施

定時定路線の検証と併せて、次期運行形態について検討

4 利用状況の把握(OD(利用区間)調査及び支線停留所調査の実施)

利用状況の実態を把握するため、利用区間や利用目的等を調査する。

利用の伸び悩んでいる支線ルートについては、停留所の利用状況について調査する。

利用者アンケートについては、利用目的や満足度の他、他の公共交通に関する意向も調査する。

5 運転免許証自主返納者及び高齢者に対する軽減措置の実施

引き続き運転免許証自主返納者及び交通安全講習を受講した高齢者に対し、こむぎっち号の運賃軽減措置を実施する。

6 交通会議の開催

年5回程度の交通会議を開催する。

内 容	令和4年										令和5年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
生活交通確保維持改善計画	→	策定・提出								事業評価			
上里町地域公共交通網形成計画の実施	→ 達成状況評価												
定時定路線の検証と次期公共交通についての検討を実施	→ 検討						→ 報告・検討						
OD(利用区間)調査									報告				
運転免許証自主返納者及び高齢者に対する軽減措置の実施	→												
交通協議会の開催			■			■			■		■	■	

令和 4 年度上里町地域公共交通活性化協議会歳入歳出予算（案）

1 歳入

単位：円

款	項	目	金額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	50,000	上里町より
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	27,343	令和 3 年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	預金利子
合計			77,343	

2 歳出

単位：円

款	項	目	金額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	50,000	・会議運営費
	2 事務費	1 事務費	17,343	・切手代 等
2 事業費	1 事業費	1 事業費	0	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	10,000	
合計			77,343	